

シンポジウム
現代中国における
ジェンダー・ポリティクスの新側面

日時：10月19日（日）12:30～17:00

場所：日本大学文理学部 図書館3階オーバルホール
（世田谷区桜上水3-25-40、京王線桜上水より10分）

使用言語：日本語・中国語（通訳付）

中国では近年、ジェンダー研究が活性化し、また維権（人権擁護）運動とも連動しながら、フェミニストやセクシャルマイノリティの運動が盛んになっています。今回、中国ジェンダー史共同研究では、第一線の研究者／活動家を招いてシンポジウムを企画しました。多くの方のご参加を期待しています。

[プログラム]

司 会：江上幸子・大橋史恵

12:30～12:40：開会挨拶・趣旨説明：小浜正子（日本大学）

12:40～13:20：報告1 金一虹（南京師範大学金陵女子学院）

「北京会議から20年

－中国社会の変容と女性の経済参画」

13:20～14:00：報告2 馮 媛（在野研究者／NGO活動家）

「ジェンダーをめぐる相互作用／不作用

－中国におけるフェミニスト・男性・国家」

14:00～14:40：報告3 宋少鵬（中国人民大学）

「性の政治経済学と資本主義的ジェンダーの奥義

－2014年東莞売買春取締り事件をめぐる論争から」

休 憩（14:40～15:00）

15:00～15:20：コメント1：阿古智子（東京大学・現代中国研究）

15:20～15:40：コメント2：足立真理子（お茶の水女子大学・
フェミニスト経済学）

15:40～16:00：コメント3：伊田久美子（大阪府立大学／WAN・
女性学）

16:00～16:55：質疑・討論

16:55～17:00：総括

★当日の参加も歓迎ですが、あらかじめ参加のご予定がわかる方は、人数把握のため、次のアドレスまでご一報頂ければ幸いです。（kohama@chs.nihon-u.ac.jp）

主催：科研基盤C「歴史的視点による中国のジェンダー秩序に関する総合的研究」（代表：小浜正子）、科研基盤B「歴史教育におけるジェンダー視点の導入に関する比較研究」、科研基盤A「研究者・市民・教員のための新しい歴史学入門」、東洋文庫現代中国研究資料室ジェンダー資料研究班

協力：中国女性史研究会

